

障害者支援施設 障害者福祉センターあさひ園

1 基本方針

ノーマライゼーションの理念のもと、利用者が「地域の中で、共に働き、共に育み、共に暮らす」社会を実現するため、個別支援計画に基づきそれぞれが望む働き方を支援しながら一般就労や地域移行を推進し、利用者の希望に沿った生活ができるよう支援する。

2 今年度重点事業目標

(1) 新施設移行に向けた準備・対応

ア 事務局・はまなす園と連携し、より具体的な新体制への移行準備を行う。

イ 利用者の身体状況や障がい特性等に応じ、生活介護サービス事業へのスムーズな移行のための体制整備を行い、より多くの方が取り組める作業の検討と受託作業の整理を進め、効率化を図る。

ウ 作業提供については法人内就労系事業所との作業連携を行い作業の効率化に努めるとともに、統合に向けた作業班編成、職員配置の準備を行う。

(2) 工賃の目標

ア 自主生産作業・施設外就労の充実を図り、販路拡大、費用構造等の見直しに努め、平均工賃15,000円以上を目指す。

イ 利用者に応じたワークトレーニング活動を通し作業意欲の向上と障がい特性に配慮した作業支援に努める。

ウ 作業にかかる経費の削減に努めるとともに、自主生産作業の法人内販売を強化し、安定した収入の確保を図る。

エ 白兔はまなす園と連携し、評価基準、工賃規程等を見直し、より適正な分配方法を検討、試行する。

(3) 利用者支援の充実

ア 本人のニーズを把握し、アセスメントに基づき個別支援計画を立て段階的に取り組み、修正しながら目標を達成に向け支援する。

イ 嘱託医、協力医療機関と連携し、各種検診、口腔ケアを実施し成人病等の早期発見・治療につなげ利用者の健康維持に努める。

ウ 障がい特性を踏まえた支援を理解するため、各種専門研修への参加や園内研修により、支援技術を高め人材育成に努める。

(4) 経営の効率化

ア 通所利用者の利用率アップを目指すとともに、生産事業における原材料・諸経費の削減を意識し経営の効率化を図る。

イ 特別支援学校・医療機関・相談支援事業所と連携を図り、地域在宅者等の見学・実習を受入れ新規通所利用者の確保に努める。

[目標稼働率：就労継続支援B型95%、自立訓練（生活訓練）40%、施設入所支援38%、短期入所42%]

(5) 地域貢献・地域共生社会に向けた取組

ア コロナ禍における実施の可能性を模索しながら地域住民が集える場として施設を解放し地域住民の活動拠点の場を提供する。

イ 清掃活動などへ参加し地域美化活動に貢献する。（バス停の清掃）

ウ 当施設が持つ人材や設備等の資源を活用し、地域ニーズに応じた活動を行う。

（パン教室、自閉症・発達障害等に関する地域相談等）